

第 36 回定時株主総会における質疑の概要

(2025 年 6 月 23 日開催)

【1】事前質問

株主様から事前質問の受付を行い、本総会の会場において 4 件に回答いたしました。

●事前質問 1

現行の株主優待制度や個人株主への情報開示について、変更予定を聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

株主優待制度については、株主の皆さまの利用状況や利便性、優待による利益額への影響および株主以外による不正利用の防止等、様々な観点から検討を重ねて現行の制度にしていますが、引き続き様々なご意見を踏まえながら検討を進めてまいります。

個人株主への情報開示のあり方については、現時点で大きく変更する予定はございませんが、株主間の平等性の確保を維持し、透明性向上、提供情報の充実を図るべく継続して検討をしてまいります。

●事前質問 2

株価について、日経平均の伸びと比較して低迷している印象であるが、株価対策について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

株価が軟調に推移している理由は、当社の収益性や成長性への期待が弱まっていることが背景にあると認識しています。引き続き収益性の改善に取り組みつつ、成長戦略を織り込んだ新たな中期経営計画の策定を進め、株主の皆様のご期待に沿うべく計画達成に邁進してまいります。

また、当社は、現行の中期経営計画の期間中に、合計 70 億円から 90 億円程度の規模の配当金交付および自社株買いを実施予定である旨、公表しています。具体的に実施を決定した場合には、速やかにご報告いたします。

●事前質問 3

子会社の株式会社コーエンの現状および今後の戦略について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

コーエン社の業績については、現在、計画を下回っている状況となり、業績回復に向けた様々な施策を進めておりますが、現時点で収益面の回復に至っていない状況です。

まずは、売上総利益率の改善を最優先事項に置き、売上および利益の成長を図る目的から必要な新規出店も進め、計画達成に向けて引き続き尽力してまいります。

●事前質問 4

今後の海外戦略や M&A の戦略について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

海外については、台湾子会社における更なる出店、中国子会社での直営店舗の開店、越境 EC の開始、タイやシンガポール等のアジア地域での商品取扱いを進めています。早期に海外事業全体で 100 億円の売上規模になるように成長を進めています。

M&A の戦略については、2024 年に、シューシャインサービスを運営する株式会社 BOOT BLACK JAPAN を傘下に加えました。今後も事業領域を広げるための選択肢として、積極的に検討を進めてまいります。

【2】会場でいただいたご質問

本総会の会場において、以下のとおり8件のご質問をいただき、回答をいたしました。

●質問1

業績は好調である一方で、株価が低調であるが、今後の株価対策について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

中期経営計画で掲げた業績目標を達成している中で、それが株価に反映されていない理由については、当社の成長性や将来性に対する期待値の低さに有ると理解しています。

長期ビジョンや次期中期経営計画への期待を高めるために積極的な情報発信を行い、企業価値向上に向けた施策を進め、株主の皆様の信頼を勝ち得ていきたいと考えています。

●質問2

株主優待制度の拡充と株主優待券の使用状況および株価のフェアバリューをどう捉えているか聞きたい。

回答（回答者 松崎社長・中澤取締役 CFO）

株主優待制度については、個人株主の方によりご利用いただき易い制度にすべく、具体的に検討を続けていきます。なお、現在の株主優待券の使用率は約30%であります。

株価のフェアバリューに関しては、DCF法に基づく価値算定を行い、定期的に、取締役会にて適正株価の点検をしておりますが、それとの比較においても現在の株価は低いものと認識しております。

一方で、将来に向けた施策と収益性向上との結び付きの点は、株主の方に十分に伝わっていないと実感しておりますので、次期中期経営計画の発表において、より明確に説明し、株主の皆様の期待に応えていきたいと考えています。

●質問3

株式会社BOOT BLACK JAPANの事業展開について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

従前より実施してきたシューシャインサービスの拡大、具体的には、当社店舗での常設サービスの提供や海外富裕層に向けた展開、靴以外の商品のリペアサービスの拡充を図る等により、競合他社との差別化を進めてまいります。

●質問4

株主とのエンゲージメントの拡充について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

一例として挙げられた懇親会の開催については、従前の形式にとらわれず、当社事業への理解をより一層深めていただける場となるよう再検討を行い、株主の皆様に対して当社の経営姿勢をより明瞭にお伝えできるよう尽力してまいります。

●質問5

人材領域の新たな課題および海外での採用・育成について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

昨年実施した人事施策によって、若手従業員の離職率改善という効果が得られた一方で、中堅社員のモチベーション低下を招く結果となり、その点を新たな課題と認識しています。引き続き教育機会の拡充等、全ての従業員に適する施策について、検討を進めてまいります。

また、海外での採用や人材育成に関し、台湾法人においては、採用の安定化や育成体制の確立が進んでおり、上海法人もこれを参考に現地に適した制度設計を進め、適切な運営に努めてまいります。

●質問6

株主優待制度の改善について、より具体的な施策を聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

現行の株主優待制度の課題点について認識をしており、金券での配布や、長期間にわたり継続的に保有いただいている株主様の優遇等も含め、複数の改善策を検討しております。

●質問7

想定している成長の規模感および事業戦略について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

長期経営計画において、売上額を2,500億円に伸ばすことを目標としており、高感度・高付加価値を活かした「顧客づくり」を基本に、競業他社のシェアを取り込んで成長を図り、海外においても同様の姿勢に立って、各種施策を進めてまいります。

また、当社は、創業当初より「衣・食・住」の領域において価値提供を行うことを掲げており、アパレル領域に加え、他領域への拡大を通じ、新たな顧客層の創造に取り組んでまいります。

●質問8

経営陣における企業経営に対する意識について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

取締役および執行役員については、毎年、評価シートを用いて、業務遂行に関する点検を行っており、リーダーシップを発揮し、情熱を持って経営を遂行しているとの評価を受けています。

今後も積極的に対話の機会を設ける等、経営陣のパーソナリティや、経営への姿勢に対する理解の深化に努めてまいります。

以上